株式会社秀和システム様向け

仕様書の基本と仕組みシステム

システム試験書

第1.0版

|  |  |
| --- | --- |
| 版数 | 1.0 |
| 承認者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |
| 作成者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |

改版履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 改版概要 | 改版日 | 改版者 |
| 1.0 | 新規作成 |  | 増田智明 |

目次

[1. はじめに 1](#_Toc331682452)

[2. システム試験概要 2](#_Toc331682453)

[3. システム試験 3](#_Toc331682454)

[1.1. 試験項目 3](#_Toc331682455)

# はじめに

システム試験のまえがきを書く。

# システム試験概要

システム試験の概要を記述する。

システム試験を行う際には、試験項目を要件定義、システム概要設計、そして顧客に提供される手順書の内容と一致させることが重要です。この方法により、システムが設計通りの機能を満たしているか、また顧客の期待に応えることができているかを確実に検証できます。要件定義とシステム概要設計に基づく試験項目は、システムの機能的な完全性を保証するのに役立ちます。一方、顧客向けの手順書に合わせた試験は、エンドユーザーの視点からの使用感や操作性を確認するのに重要です。これらの試験項目の整合性は、システムが技術的にもユーザビリティにおいても高い品質を持つことを保証するための鍵となります。

# システム試験

システム試験項目を記述する。

## 試験項目

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 管理番号 |  | 分類 |  |
| タイトル |  | | |

試験詳細：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 試験実施日 |  | 試験結果 |  |
| 不具合票 |  |  |  |
| 修正確認日 |  |  |  |

システム試験を実施する際、試験手順の詳細な記述が必要です。Wikiやその他のドキュメンテーションツールの使用は、手順を効率的に管理し、共有するのに有効です。これらのツールを利用することで、従来の一覧表形式の文書は不要になり、手順の更新やアクセスが容易になります。テスト項目としては、運用手順をユースケース記述形式で示すことが推奨されます。ユースケース記述により、実際の運用シナリオに基づいたテストが行え、システムの実用性とユーザビリティの両方を評価できます。このようなアプローチにより、システム試験の透明性と効率性が向上し、より実用的でユーザーフレンドリーなシステムの開発が促進されます。